



## 「みはた・ミュージアム・マスタープラン」



美旗地域において

『活力と潤いのあるまちづくり・人づくりを通じてひろがりのある地域を目指して』

を理念に

「四つのまちづくりビジョン」（基本構想）

と

「10のまちづくりプロジェクト」（行動計画）

の策定をもって

「みはた・ミュージアム・マスタープラン」とする。

## はじめに

美旗地域は、三重県西部伊賀地域のほぼ中央、名張市の北部に位置し、南北を縦断する国道368号と東西を横断する国道165号の主要幹線に囲まれ、大阪まで1時間余の交通便にあり、市内最大の農産物供給地である農業集落地の中に、近畿日本鉄道大阪線美旗駅周辺に開かれた住宅地が混在する特性を持っており、現在8,900人余の人口を数えている。大阪のベットタウンの機能をも持ち、新旧住民が生活文化を共有する、名張の縮図といわれる地域である我地域は、いま、都市内分権という新しい住民自治が求められている。

地方分権時代の今日「自分たちのまちは自分たちでつくる」の観点から、住民の思いや願いを反映した「美旗地域のまちづくり」の「基本的な考え方や進む方向」を示すため、美旗地域の住民で構成する「美旗まちづくり協議会」が自らの手で『活力と潤いのあるまちづくり・人づくりを通じてひろがりのある地域を目指して』を理念に、「4つのまちづくりビジョン」（基本構想）と、「10のまちづくりプロジェクト」（行動計画）を構築し、其の全ての構想を「みはた・ミュージアム・マスタープラン」と称し推進する事とする。



## 基本構想

### － たましい －

「美旗まちづくりビジョン（基本構想）」は、住民の夢と希望を示したものであり、「美旗地域のまちづくりにおける基本的指針」として、このビジョンを基に、美旗地域の住民みんなで育て、成長させていくプランである。



### － 位置付け －

「美旗まちづくりビジョン（基本構想）」の位置づけは、名張市の定める名張市総合計画をはじめ、名張市住民自治基本条例第34条に定める地域づくり組織として、「各個別の計画書との整合」を図るほか、美旗各地区の取り組みとも連携を図るものとする。また、基本構想の期間は「およそ10年を目途」に置くこととし、それぞれの個別事業は、美旗まちづくり協議会の各事業部会行動計画により具現化し推進するものとする。



### － 財源 －

「美旗まちづくりビジョン（基本構想）」の財源は、国・県・市などの公的財源のほか、財団や企業、NPOを含めた民間による「新たな財源」を確保する。そのため、美旗まちづくり協議会や地域住民は財源確保に努めるものとする。



### － 実現のために －

「美旗まちづくりビジョン（基本構想）」を実現するために、美旗まちづくり協議会や地域住民は、より結束を深め「人と人のつながりや地域連帯の重要性」をあらためて認識し「だれもがやさしい福祉のまちづくり」や「住んでよかったと実感できる活力と潤いのある地域づくり」に努めることとする。



## 基本構想 ー 1

## 自然と歴史が香る【史跡と文化のまちづくりビジョン】



地域内に点在する文化遺産は数多く、五世紀後半に構築された県下最大級の馬塚古墳を始めとする美旗古墳群、鎌倉時代においては、観世流能楽の創設者である観阿弥清治が小波田地区で座を開いたとされる「観阿弥ふるさと公園」がある。

戦国時代には、織田信長が伊賀に侵攻した「天正伊賀の乱」の合戦場となった中世城跡（滝川城跡）、江戸時代に於いては藤堂藩が加納直盛・直孝に命じて着工した新田開発事業、三里十八町に及ぶ新田水路、初瀬街道(伊勢街道)の新田宿の街並など、地域全体に歴史的文化遺産が現存している。

また、小波田川流域をはじめとする美しい自然景観や、周辺流域の田園風景は心の原風景として恵まれた地域とされており「自然と歴史の香り高い史跡と文化のまちづくり」が求められている。



基本構想 -2

だれもが生きいき【安全安心のまちづくりビジョン】



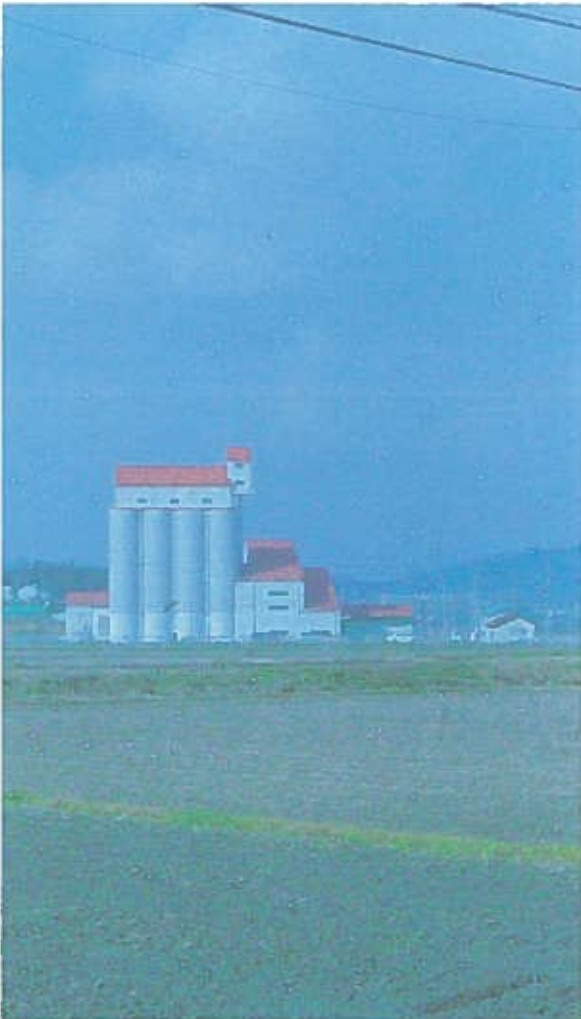
旧来の農業集落地住民と各住宅地住民との交流は、積極的に推進致しているが、地域全体を対象とした防災訓練、防犯活動、交通安全など安全安心の対策事業をより積極的に取り組む事により、新旧住民の相互理解と協働によって、魅力ある居住環境の構築や青少年健全育成を推進し、次世代に継承することが望まれている。

少子高齢化が進む美旗地域は、子どもからお年寄りまで住んでよかったと実感できる世代間交流や、障害のある人ない人だれもがやさしい福祉のまちづくりのために「だれもが生きいき安全安心のまちづくり」が求められている。



## 基本構想 ー 3

## 活力と潤いのある【産業経済活性のまちづくりビジョン】



農業集落地区には優良農地が集積しており、水田農業をはじめとして、ブドウ栽培・メロン栽培等特産物生産の振興を積極的に図り、高生産型農業の推進を薦めている、しかし、遊休農地の有効活用や農業後継者の育成等の課題も山積している。

そこで、新しい農業のあり方や、農商工の連携といった取り組みをはじめ、企業誘致など次世代に向けての住み良さを追求する展望をふまえ、地域住民が一体となった事業を推進する「活力と潤いのある産業経済活性のまちづくり」が求められている。



## 基本構想 — 4

### 環境に優しい【資源循環型のまちづくりビジョン】



CO2削減をはじめとする、地球環境保全に対する取り組みが議論される今日、刈草対策や地域の先輩が経験してきた薪・柴・炭などが見直されてきている。

そこで、堆肥リサイクルや堆肥発熱利用及びバイオ燃料の生産等地域資源を最大限に活用した「環境に優しい資源循環型のまちづくり」が求められている。





## 行動計画 ー 1

### 自然と歴史が香る 【史跡と文化のまちづくりビジョン】

- 1、古墳群を含む自然環境の有効利用プロジェクト → 文化の継承、観光振興
  - ・馬塚古墳活用事業：「お月見コンサート」
  - ・下小波田竜王水整備事業
  - ・小波田川堤防花の遊歩道（フラワーオアシス）整備事業
  - ・南古山蛸、めだか再生事業
  - ・みはた歴史散策遊歩道整備事業
  - ・みはたサイクリングコース整備事業
  - ・みはた古墳公園整備事業：市有地有効活用、公衆トイレ整備、駐車場整備等
  - ・竹林景観事業
- 2、初瀬街道を活かしたまちづくりプロジェクト → 文化の継承、観光振興
  - ・新田初瀬街道の修景を活かした景観事業：暖簾・行灯・常夜灯の設置など
  - ・初瀬街道祭事業
  - ・その他：提則庵や隠（なばり）街道、市との連携
- 3、歴史文化遺産活用プロジェクト → 文化の継承、観光振興
  - ・観阿弥祭事業
  - ・観阿弥公園整備事業：能楽堂橋掛かりの整備など
  - ・新田開発に係わる事業：加納祭り、日時計の整備など
  - ・新田水路活用事業：サイクリング、遊歩道整備
  - ・滝川城跡整備事業：物見やぐらの設置など
  - ・語り部養成事業
  - ・その他

## 行動計画 ー 2

### だれもが生きいき 【安全安心のまちづくりビジョン】

- 4、安心安全のまちづくりプロジェクト → 安全安心、福祉の推進
  - ・防災訓練、防犯活動、交通安全などの生活安全事業
  - ・青少年健全育成活動事業
  - ・地域福祉事業
  - ・ソーシャルビジネス創設事業
  - ・その他
- 5、生涯現役社会を構築する世代間交流プロジェクト → 福祉施策の推進
  - ・園芸福祉事業
  - ・世代間交流多目的広場整備事業
  - ・シルバー人材及び障がい者雇用対策事業
  - ・竹材利用事業：竹炭、工芸品、玩具など
  - ・その他

## 行動計画 — 3

### 環境に優しい 【資源循環型まちづくりビジョン】

- 6、資源循環型社会実践プロジェクト → 雇用の促進(経済効果)
- ・刈草堆肥リサイクル事業
  - ・薪、柴、竹炭活用事業
  - ・ゴミゼロ推進事業
  - ・バイオマス事業
  - ・クリーンキャンペーン事業
  - ・その他
- 7、堆肥発熱利用ビニールハウス促成栽培プロジェクト → 雇用の促進(経済効果)
- ・促成トマト、ミハタメロン、ミハタブドウの栽培事業
  - ・育苗販売事業
  - ・その他

## 行動計画 — 4

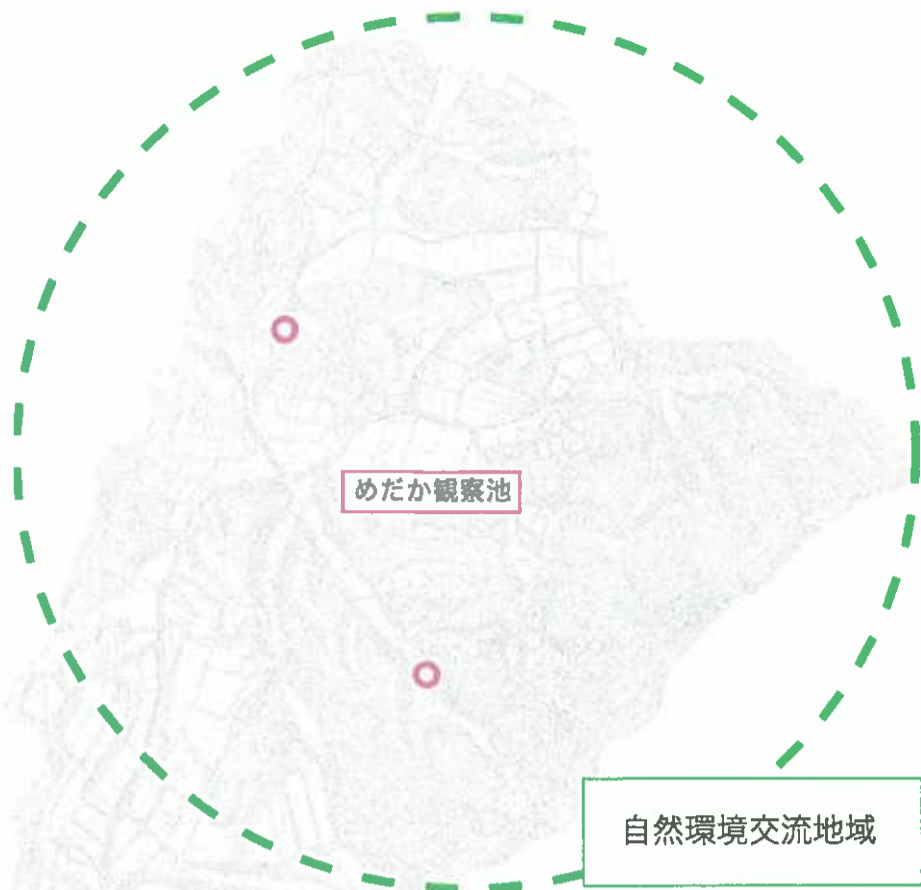
### 活力と潤いのある 【産業経済活性のまちづくりビジョン】

- 8、あたらしい農業活性化プロジェクト → 遊休農地の有効利用
- ・市民農園整備事業 : 貸し出し農具等
  - ・ふるさと農道整備事業
  - ・地産地消事業 : 「直売所」「わくわく芋作り」「野菜教室」など
  - ・グリーンツーリズム事業 : 宿泊施設、クラインガルデン等
  - ・その他
- 9、農商工連携プロジェクト → 雇用の促進(経済効果)
- ・食品産業の誘致事業 : 美旗のぶどう、メロン、ねぎなどの活用
  - ・ワイナリーの建設事業
  - ・ミハタワインの販売事業
  - ・その他
- 10、「企業の森」誘致プロジェクト → 雇用の促進、環境施策
- ・「企業の森」事業
  - ・みはたの森づくり事業
  - ・その他

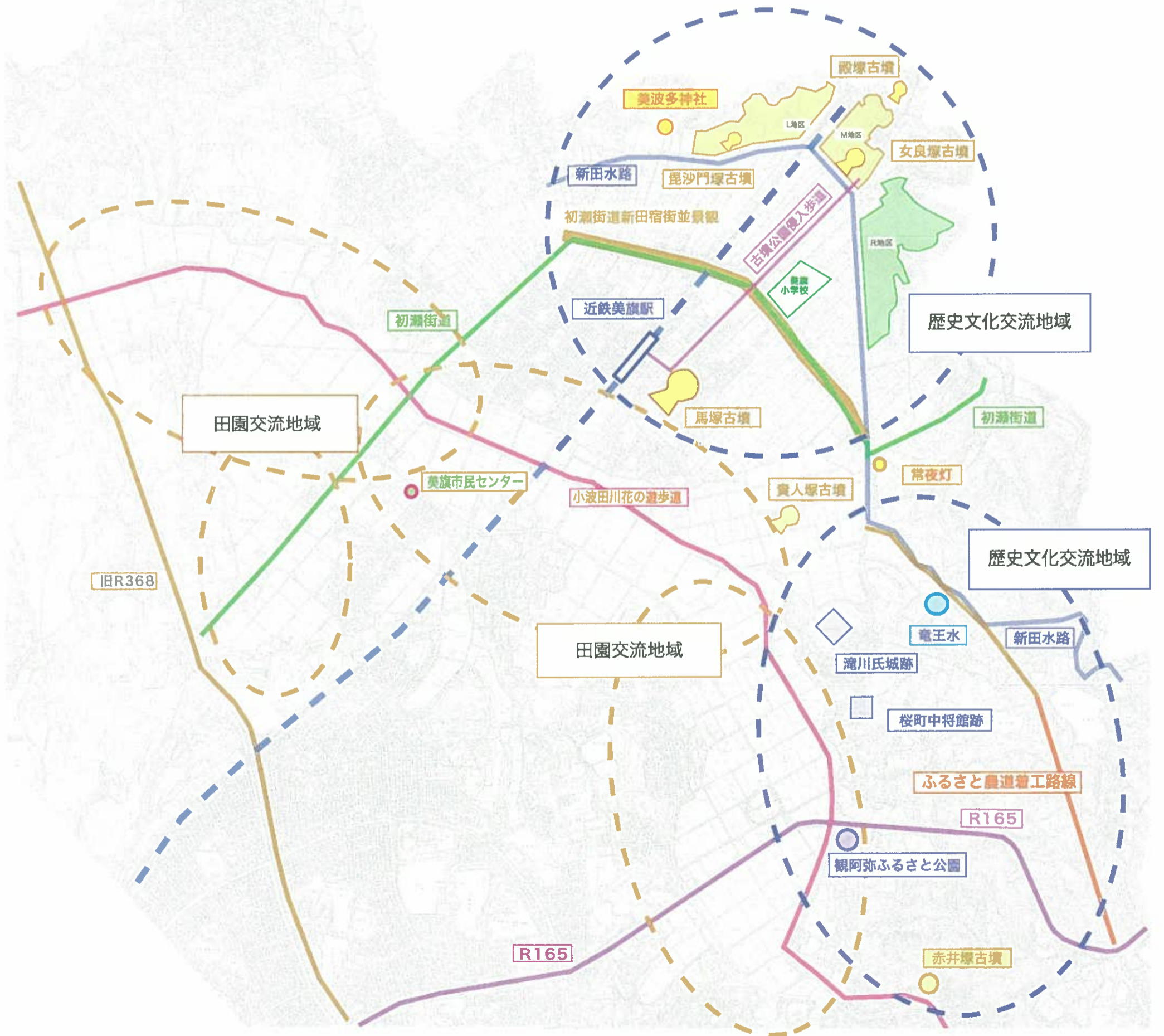
みはたビジョン検討委員会検討経過

2001年 平成13年	3月	史跡等の活用基本構想策定事業報告書（名張市教育委員会） （美旗地域の歴史・文化と自然を活かしたまちづくり）
	平成13年 6月 2日	みはた21まちづくり協議会発足
2002年 平成14年	2月から4月	みはたまちづくりアンケート調査実施
2003年 平成15年	8月31日	美旗まちづくり協議会設立
2004年 平成16年	3月	名張市総合計画（福祉の理想郷）策定
	5月23日	みはたビジョン検討委員会設置
	11月 8日	第1回みはたビジョン検討委員会
	11月25日	第2回みはたビジョン検討委員会
	11月27日	ビジョン取組み方針、主要検討事項等の説明 （於：美旗まちづくり協議会運営委員会）
	12月25日	第3回みはたビジョン検討委員会
2005年 平成17年	1月29日	第4回みはたビジョン検討委員会
	2月26日	第5回みはたビジョン検討委員会
	3月25日	福井県武生市（大虫地区）視察
	5月21日	ビジョン検討委員会 中間報告 （於：美旗まちづくり協議会総会）
		『潤いと活力あるまちづくり・人づくりを通じてひろがりある地域を目指す』 ・美しい田園風景や地域の特性をいかした專業の振興 ・地域間交流を通じた活性化 ・歴史、文化遺産のネットワーク化 ・美旗駅、道路等アクセスの改善による利便性の向上 ・誰もが安心、安全に暮らせるまちづくり
2005年 平成17年	9月22日	第6回みはたビジョン検討委員会
	10月29日	第7回みはたビジョン検討委員会
	11月13日	ビジョン、事業部会合同会議
	11月27日	第8回みはたビジョン検討委員会
	12月25日	第9回みはたビジョン検討委員会
2006年 平成18年	1月28日	第10回みはたビジョン検討委員会
	3月20, 21日	福井県小浜市（縄文公園）視察
	5月20日	（於：美旗まちづくり協議会総会） これまでビジョン検討委員会で提案された中で、見通しがでてきたものは、別組織により実現に向けた専門的な検討を行い、引き続き検討を要するものは、組織を充実して検討を進めることとした。
2008年 平成20年	11月30日	第11回ビジョン検討委員会 再開
	12月21日	第12回ビジョン検討委員会
2009年 平成21年	5月24日	第13回ビジョン検討委員会
	6月 上旬	第14回ビジョン検討委員会
	6月27日	美旗まちづくり協議会総会（ビジョン承認）

悠久の里美旗  
総合エリアマップ



自然環境交流地域



歴史文化交流地域

田園交流地域

歴史文化交流地域

田園交流地域

旧R368

R165

R165